

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

お城下

(ユニット名)

かめ

記入者(管理者)

氏名

福島 真理

評価完了日

平成 20 年 7 月 31 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			お城下の理念に基づいてついで地域との交流も取り入れながら生活できるように支援している。番町公民館の夏祭りへの参加、番町小学校の運動会見学など。町の中心地に在っても、静かでゆったりした空間づくりを心がけている。		一部お元気な方は散歩買い物など地域商店街へ出ている少しずつ地域の中へ出てゆきたい。
			(外部評価)		
			事業所の理念の一つ「よい環境」作りのもと、開かれたホーム作りを目指しておられる。		さらに、貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として、どのようなことに取り組んでいくのかということについて、この機会に具体的に話し合われてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			取り組んでいる。分かりやすい言葉で表した理念に基づき意味を話し合いながら清潔でゆったりした環境の維持やさしい会話、旬の食材の料理の提供を心がけ実践している		朝夕の申送り時、実務の連絡と理念に関した話をしてみんなで共有している
			(外部評価)		
			理念を共用空間に掲示されている。又、管理者は、毎朝の申し送り時等、理念のもとチームケアが行えるよう指導しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			取り組んでいる。家族の面会外出の援助はよくあって家庭に外泊したり、商店外へ出かけたり地域に馴染んでいる		体力的に無理のない程度の地域行事への参加を進めたい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 町の中心地にありビルの3階4階に位置しているが、2回はクリニック、1回はコンビニなので1回のコンビニにはよく利用する。入居者もよく利用し、お付き合いしている。		町の中心地に在って、オフィス街なので、住民が少なく勤め人や買い物客なので苦心しているが、努力してゆきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 番町区の夏祭りなどに参加している。しかし介護の重度者が多く苦心している。 (外部評価) 町内のバザー等に参加された。		交流の方法を検討していく。 立地条件等のこともあり、地域の協力等がむづかしい面もあるようだが、地域の情報収集や、地域の中の公的サービス事業所としてどのような取り組みができるのか、話し合いをすすめてみてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 話し合っているが具体的には地域の高齢者の実態が分からないので苦心している		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 理解している。自分たちの仕事が法に基づいて運営され仕事の内容が充実改善されるように努力している。 (外部評価) 管理者は、ユニットのリーダーと話し合いながら自己評価を作成された。管理者は、自己評価に取り組み、日々を振り返り、「理念に沿ったサービスが提供できている」と感じておられた。		理念に基づいた実践を行い。研修への参加などで自己研鑽を進めたい。 訪問調査時の話し合い、評価結果や家族アンケートの結果等をきっかけにして、話し合われて、さらなるケアサービスの質の向上に向けて、具体的に取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)			
			現状報告や、支援に対してのご意見を頂き実践に反映している			頂いたご意見、は小さなことから生かしていく姿勢を続けてゆきたい。ご利用者ご家族からの施設内環境に対するご意見など。
			(外部評価)			
			これまで4回の会議を開催された。現状を報告し、事業所で毎回議題を決め「理想的な医療連携・ケアプラン」について、お話をされた。		さらに、会議には、いろいろな立場の方に集まっていたような工夫や、意見を出していただくための働きかけを重ねていかれてほしい。又、「開かれたホーム作り」を目指した話し合い等もすすめていかれてはどうだろうか。	
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)			
			取り組んでいる。疑問点や改善点は質問して支援を求めている。できるだけ早く改善する努力をしている。			サービスに関連する法的な整合性の確認。
			(外部評価)			
			運営推進会議では、市の担当者の方から医療連携の支援時「ご家族との話し合いを大切にしてほしい」とアドバイスをいただいた。			
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)			
			実際に利用されている入居者もあり、必要性があると思われる入居者にはご紹介もしている			家族やご本人の考え方も在って利用までには時間はかかるが必要なときは活用したい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)			
			努めている。朝夕の申送り時、機会あるごとに入居者の具体的援助と合わせて話し合っている。			職員同士実務の連絡、感じた事など話し合って解決するようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている。分かりやすく実際に説明して理解していただき疑問点は遠慮なく質問していただいで納得をしていただくようにしている。		できるだけ契約以前に訪問や施設見学でよく研究していただき疑問点も質問していただいで理解していただけるようにしている
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由にいただいでいる。ご意見はできるだけ早く解決できるように対応している。		ご意見箱の設置、意見、不満、苦情の申し出先についての説明を契約時行っている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎日のように面会に見えらるご家族様には口頭で状態について報告し、月に1回小口預り金の確認をしていただいでいる		あまり面会のないご家族にも連絡をしていく 事業所では、今後、毎月の送付物とともに、お手紙を添えることも検討されている。遠方にお住まいのご家族や足遠くなられているご家族への報告についても、工夫を重ねられることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 反映している。面会時や電話など、ご意見や苦情なども直接にあり改善できる場所は、できるだけ早く行っている。		ご意見箱の設置 直接意見を言いやすい雰囲気継続してゆく。
		(外部評価) ご家族からは、口頭でご意見をいただくことが多い、又、ご家族の要望に対して、納得いくよう話し合うようにされている。事業所の行事にご家族をお誘いしている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 常勤者、パート者関係なく仕事上の改善点、意見は話し合って取り入れている。		入居者も、職員も安心して楽しく過ごせるように運営していきたい
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 実施している。パートの時間帯の多様な設定。希望休を含めた、職員のゆとりある配置、人数の確保、補充。		無駄がなくゆとりのあるシフトの構築。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 配慮している。ここ半年ぐらい離職者がなく、増員している。職員のユニット間の移動も、スライドしているので急激な変化は回避できている。		安定して援助が提供できるように職員の配置を考えていく。
			(外部評価) 管理者は「チームアプローチの大切さ」を職員に伝え、チームが一丸となってケアに取り組めるようお話しされている。職員同士で飲み会に出かける等、職員同士のコミュニケーションを大切にされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 進めている。新規採用者は、経験者未経験によらず、マンツーマン方式で、オンザジョブトレーニングを行っている。順次外部研修も取り入れている。		シフトの安定を見ながら必要な研修を取り入れてゆきたい。
			(外部評価) 現在、2級ヘルパーの資格取得に通われている職員がいる。管理者が、日々の実践の中で職員を指導されている。		事業所では、さらに今後、人材育成に力を入れたいと話しておられた。又、すべての職員が集まって意見交換したり、勉強できるような機会作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			現在検討中である。参加する方法を同業者に問い合わせ中である。			地域包括支援センターグループホーム連絡協議会への参加を進めたい。
			(外部評価)			
			これまで1回、地区のグループホーム連絡会に参加された。		他事業所との交流から、いろいろな取り組みを知ったり、意見や情報交換ができるよう、ネットワーク作りをすすめられてほしい。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			取り組んでいる。ホーム内での清潔やリラクスペースの確保。現場を離れる昼休みの設定。			ゆっくりとした昼休みの継続。リラクスペースの充実。職員の親睦会の継続。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			努めている。自薦的な研修への参加助成。勤務の評価。			折り目正しさのある職場の構築。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			行っている。入居前の見学や、面談にて親しみを持ってもらっていただく。ホームでの会話の対応。			併設医院に受診されても、気軽に見学できるような案内などの設置。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 行っている。ご希望やご見学の後相談に来られた際にじっくりとお話を聞く機会を設けている。		できるだけ施設の情報を発信してゆく。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。面談にいてい何が必要かを気付いてもらえるように対応進言している。		ホームはが必要となって急遽来所される方も多いが常に気軽に情報が提供できるように改善したい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) している。必要になって急遽入居される人が多いが無理な日程は行わない。日課も作らずご本人が必要とされる事から開始する。したいことを、したい時にすることからはじめる。 (外部評価) 利用者に事業所周辺のことを知っていただけるよう、お散歩時には、町を案内されている。又、事業所の住所を何度も話題にして、利用者に知っておいていただけるよう取り組まれている。		ご家族の協力はとても大切なので、気軽にアイデア、ご意見が出していただきご本人の援助に役立てれるようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 築いている。自分で出来ることはしていただきできないところは援助する。話し合いながらレクリエーションを取り入れていくなど計画する楽しみもともに共有している。 (外部評価) 職員は、利用者から洗濯の方法等について教えてもらうこともある。		支えあいだけ支えられる一方ではなく家庭(ホーム)の中にもルールありを実践してく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 築かれつつある。お客様としてご利用いただきながらご意見もご相談もともに考える時も、もてるようになってきた。		お客様であるが支援に参画しているという意識を持っていただけるような方法を提案し続ける。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 支援している。ご本人の状態を見極め、ご家族の思いとご本人お思いができるだけ寄り添って行けるように少しずつ提案している。		認知に対する認識を少しずつしていただけるよう提案し続ける。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 努めている。ホームでの生活は画一的にならないようご本人の思いを優先している。他の人の生活に影響しないように。		現在の方法で様子を見ていく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 支援している。個々人のストレスは最小にして関わりももてるように工夫している。		ボスの存在の力を抑える。力関係をバランスを見ながら介入していく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 大切にしている。退所されても話に来ていただいている方もある		馴染みの職員が働いていて話に来やすいように、職員の定着もめざす。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人本位に努めている。入居以前の生活習慣、嗜好を配慮して生活の環境を考えている。</p>		<p>身体への影響、他の入居者への害がない限りご本人の思いの生活を援助する。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、日々利用者と接する中で気付かれたことや知り得た情報を、口頭で職員に伝達されている。</p>					
<p>知り得た情報の蓄積等についても工夫を重ね、継続してご本人の思いを把握できるよう努めていかれることが期待される。</p>					
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている。入居前面談、訪問、居宅介護支援事業者などからの情報提供などを活用している。</p>		<p>いままでどうり不足無く生活できるような援助に役立ててゆく</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている。主治医への受診。主治医の指導を受けながら身体状況を把握し、日常の状態は主治医に報告して判断を仰ぐなどして、現状の維持、改善に努めている。</p>		<p>現状把握と、変調時の対応に努める。</p>
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作成している。主治医、ご本人、ご家族、職員にて個別の援助目標を設定1ヶ月ごとにモニタリングを行って援助の見直しを行っている。</p>		<p>チームでアプローチを進めていく。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>ご本人・ご家族の意向を聞き、介護計画を立てるようにされている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
			作成している。主治医、ご本人、ご家族、職員にて個別の援助目標を設定1ヶ月ごとにモニタリングを行って援助の見直しを行っている。			身近で改善を急ぐ事から実践改善していく。
			(外部評価)			
			介護認定の更新時の見直しを主に、毎月モニタリングを行い、利用者の状態に合った支援が行えているか評価をされている。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
			活用している。簡易な記録表にて情報が読みやすく共有しやすくしている。			改善できる記録は改善して実践に生かせるようにする。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
			行っている。チーム力を生かして要望を早く伝達周知して対応している。			柔軟な対応ができるようシフトを改善していく。
			(外部評価)			
			事業所は、建物内に母体病院があり、「すぐに医療的な指示を仰げることが事業所のメリットである」と話しておられた。服薬の様子等も知らせ、早急な処置や対応が可能な点等、事業所の柔軟性と覚えておられた。		さらに、生活支援についての柔軟性という点からも話し合ってみてほしい。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) している。面識を持てるように対応している。		町の中心地にあるので、安全面で警察、消防との連絡は密にしてゆきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 行っている。自立になられた人など他の自立型施設への紹介をしている。		状態を見て流動的な対応を心がける。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 協働している。入退居の相談。サービス事業者のご紹介などお願いしている。		これからも連動してゆきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 行っている。ご本人の希望する病院への通院の援助家族への協力を行っている。		ご本人が苦痛の少ない生活を選択出来る援助の継続。
			(外部評価) 建物内に母体病院があり、いつでも診てもらえるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 支援している。ご本人の希望の病院への紹介。介助家族への紹介説明。		受診され、入居希望される方への説明や支援を行う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 行っている。各ユニットに1名づつ看護師が配属されている。相談協力している。		いまの支援体制で安心のある援助を提供している。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) いまの所連携している入院施設のある病院との連携は無いが、病院からのお問い合わせはある。		居室の空状況などを支援センターと連携してタイムリーに提供し連携を取りたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) できるだけ早い機会に主治医ご家族との話し合いにて職員も共有している (外部評価) 事業所では、利用者の健康状態について、ご家族に詳細に報告されている。又、ご本人の状態に応じて、母体病院の医師から今後について聞くようになっている。重度化、終末期の支援について、病院の看護師と事業所の介護職員が協力し合い、取り組まれている。		現在の方法を続ける。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 行っている。実際にお見取りまでの支援を行っている		これからもご希望に沿ってゆく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 努めている。ご本人ご家族の希望に沿うよう情報の交換をしている。		研修など援助に役立てる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者様には苗字で声掛けしている。記録簿は戸締りのできる場所に保管している。</p>		<p>馴れ合いにならないように職員同士で研鑽をしてゆく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員同士の業務上の言葉のやり取り等、気になる場面が見受けられた。又、使用中のトイレの戸の開閉についても、いろいろな理由等もあるようであるが、プライバシー保護の観点から配慮の必要性を感じる場面がある。</p>		<p>又、職員は、利用者への対応やかかわりについて、むつかしさを感じることもあると話しておられた。利用者の立場に立った話し合いを重ねていかれてほしい。さらに、共用空間に設置されている利用者の居室を映し出すモニターについて、いろいろな理由や事情があっても「尊厳を守る」という観点から「プライバシーへの配慮」に向けて、すべての職員で話し合い、改善への工夫が求められる。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。個人の理解度によって、自分の思いを大切に行動は自分で選択してもらっている。</p>		<p>言葉や表情の表現を受け止めるように、職員の理解度を研鑽する。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。その人のペースで日課をこなしてもらっていて自由に行動してもらっている。</p>		<p>ゆっくりと、清潔で安全な生活スペースを作っていく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>昼食後、居室でテレビを見ておられる方や休まれる方がうかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 努めている。介助したり自分で行ったり自由である。		その人に合わせて介助法を変えて援助する。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 行っている。準備の手伝いや、片付けも手伝ってもらってテレビの話などもして楽しんでいる。		話のきっかけにもなるよう援助する。
			(外部評価) ユニットごとに違うメニューとなっている。介護食士の資格を持つリーダーがメニューをチェックし 季節のものや彩りなども配慮されている。		さらに、食事時の職員の介助やかかわり方等についても、利用者一人ひとりがさらに食事を楽しめるような工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 行っている。体調を見て主治医の意見を伺い、晩酌や喫煙を取り入れている。		継続する。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 支援している。時間による排泄の誘導、トイレ介助、オムツの入りハビリパンツの人、その人によって対応している。		無理せず苦痛の少ない援助法を取り入れてゆく

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			支援している。毎日入浴時間を取って希望すれば毎日でも入浴する。		無理のない安全な入浴介助を続ける。
			(外部評価)		
			車いすを利用されている利用者等には、職員2人で介助されている。又、同性介助に心がけておられる。		利用者一人ひとりの入浴の習慣等も探り、さらに、くつろぐことのできる入浴の支援について、工夫を重ねていかれることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			支援している。自由にしてもらっているが一応食事時間が設定されているので、食事以外は自由です。		食事時間があっても例外も継続する。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			支援している。基本的に自由行動になっているから、自由にしたいことをしてもらっている。		レクリエーションも自由参加で自分の好きな事ができるように援助する。
			(外部評価)		
			縫物をされる方がおられ、お孫さんから頼まれた座布団を縫っておられた。又、共用空間には週刊誌が用意されていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			支援している。特に外出のレクリエーションは買い物を楽しんでもらっている。		金額はご家族に確認してもらっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			支援している。その人の希望で近所の散歩買い物に出かけている。		無理のない外出で楽しみを作ってゆく。
			(外部評価)		
			利用者2～3人が車でイチゴ狩りに出かけられたり、買い物等に出かけることもある。又、お一人で商店街に出かける方もいる。		さらに、利用者個々の生活の拡がりのためにも、日常的に出かけることを支援していかれてほしい。ご本人の希望やご家族の意見等も聞き取りながら、取り組みをすすめていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			行っている。家族協力で外出されたりレクレーションで果物狩りをしたり、季節感を持ってもらえるようにしている。		イチゴ狩り。ぶどう狩り。外食を楽しむ。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			支援している。施設の電話を使ったり、ご自分の携帯を使ったり、したい時にご家族に連絡ができる。		これからも自由に連絡できるよう支援する。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			している。あまり面会時間に縛られないようにしている。		面会簿の記入をしていただける工夫をしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。ご家族に説明して危険回避の場合だけ最小限同意書をもって行うようにしている。		拘束をしないで介護できるように研鑽する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 実践している。実際に夜勤帯になって玄関施錠するまでは鍵はしていない。みんなの目と注意力で見守っている。		現状で維持できる。
			(外部評価) 事業所の出入り口には鍵をかけていない。利用者がお一人で出かけられた場合には、一階のコンビニエンスストアの方から連絡をいただくこともある。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 配慮し実践している。昼間は常に声掛け、居場所確認を怠らずできている夜間帯2時間おきの巡回で安全確認できている。		チームアプローチの実践が効果を挙げている。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 行っている。ホームの中は自由だが包丁などの調理道具は厳重に保管している。		安全で自由な気風を継続してゆく。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。消防署の防火訓練を受けている。消防管理責任者は講習を受けるように申し込み中である。薬の管理保管は戸締りのできるところ、体位交換見回りも徹底している。		個人に応じた安全確認を臨機応変にできるようチーム力を高めてゆく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではないが、オンザジョブトレーニング方式で実際の場面で想定できる事を現場で研修している。		チーム力の強化。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) いまの所地域との協力体制は取れていない (外部評価) 階段から避難する訓練を行われた。		できるだけ早く地域に方と協力体制が取れるよう働きかけていく。 事業所は建物の3、4階部分に位置していることも踏まえて、すべての利用者が安全に避難できるような方策について、話し合いや訓練を重ねていかれることが期待される。又、いざという時、近所の方達に協力が得られるよう、働きかけをすすめていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 行っている。早め早めに起こりうる身体的変化とリスクについて注意を促し現状の報告を行っている。		急がず平常時に起こりうる可能性のある危険について伝達してゆく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 対応している。観察の方法観察力の向上を目指して一人の気付きをみんなで共有して、注意を促している。申送り時の対応への助言、意識のレベルアップに努めている。		報告連絡相談を強化しみんなで情報を共有して対応に反映していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている。主治医ナース職員がチームで連動して動いているので薬に対する理解の共有をし役立てている。		看護職介護職の協調を続けて行く。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。排便のチェックも毎日行い主治医に連絡して対応している。		動きが少ない人の排便コントロールを早期に行う。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 行っている。自分で出来ない人は介助にて行っている。		その人にあった口腔ケアの継続。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 行っている。1日の摂取カロリーは主治医に指導していただき1200kcal～1400kcal 水分は1000ccから1500cc摂取できるように努力している。一日の水分量、食事量チェックもしている。		日計表を活用して摂取量のチェックに役立てて実践力を高める。
			(外部評価) 刻み食やとろみ、ミキサー食等、利用者の状態に合わせて対応されていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 予防マニュアルを作成している。皆で周知して実践している。食器類の扱い、洗濯、入浴排泄、などに生かしている。		予防を実行してゆく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 実践している。台所の清潔ごみの適切な処理。片付け。食材の少量購入と、早く使い切って残りを少なくするなどできる改善はみんなで方法を出し合って常に改善に取り組んでいる。		役に立つ意見方法はすぐ取り入れるようにする。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) できる工夫はしている。飾り立てないすっきりとした清潔な感じ。		清潔の保持。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 無駄な装飾を避け静かで落ち着ける空間作りを心がけている。 (外部評価) 観葉植物が配され、金魚も飼っておられる。3階のユニットはベランダに面しており 居室や居間からベランダに置かれた草花の鉢を眺めることができる。利用者とともに作られたひまわりの絵が描かれた紙製のカレンダーが飾られていた。		掃除の行き届いた清潔な空間づくり。ボランティアの先生によるいけばな 事業所の理念の中の、よい環境（居心地良い環境）を目指し、この機会に、利用者の方の居心地のよさという点から共用空間を点検されてみてほしい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 工夫している。椅子やソファを配して座りやすくこじんまりしている場所づくりをしている。		決まった広さをいかに広く使って変化をもたせるか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			工夫している。ご家族と相談してお気に入りの家具などの配置、好きな手作り品などをかざったりもっている。		ご本人のご希望で自分の部屋を工夫して利用してもらおう
			(外部評価)		
			居室の入口には、それぞれにのれんが吊るしてあり、じゅうたんを敷いておられる方もうかがえた。居室に、ご自分の若い時の写真パネルやお孫さんの写真や習字の額を飾っておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			行っている。朝夕お掃除の時の換気。温度計設置して居室の温度をチェックして空調機のコントロールを行っている。		無理なく無駄なく清潔な環境を維持する。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			工夫している。ホールの手すりの設置。トイレ浴室の手すりの設置にて自分で出来るだけ安全に移動できるように工夫している。		自分で出来ることを安全にできるような援助。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			工夫している。その人に合わせてできることをしていただく工夫をしている。		車椅子移動。立ち上がり棒を設置して自分でベッド移乗をする。自分で家族に電話する。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			活用している。屋上の休息所。プランタの植物栽培。金魚飼育。		楽しみが発見できる工夫を続ける。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	チームでアプローチしているがそれぞれの職員の思いを話し合うことで入居者の状態把握がよくできている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	割と作業をしながら一緒に過ごせている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	寝たければ寝るさみしくなればホールに出てくるで自分の時間で動いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	見られる。好きな事をする事で気分が変わって生き生きしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自由に出かけたり連れて行ってもらったりしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	併設西田クリニックからの往診や、定期的受診で安心して過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	安心している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	できている。ご相談にはできるだけ早く解決策を提示改善している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	いろいろな人が訪問してくれるので、変化があって刺激となっている。生花の先生、パーマ屋さん、友人近所の人など

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ① 大いに増えている ② ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	地域近隣が少ないのでこれからの課題。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	チームアプローチが定着してきたので生き生きしてきた。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	特に帰宅願望も無く介護拒否も無く、のんびりしていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	疑問な点もすぐたづねてくれるので、対応が早くでき満足されてきているよう

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

お城下の理念 よい匂い、よい肌触り、よい音(会話)、おいしい料理、よい環境(居心地良い環境)の言葉どおり、優しい言葉で分かりやすく穏やかに暮らせるように援助させていただきます。なにかメニューをこなさなければいけないようなしんどい考えから開放され今日も静かにゆっくりと暮らせてよかったというようなまったく自然体で入居者様も職員も生活できるように取り組んでいます。